

リハビリテーションの特徴

○まひや筋力、認知面の改善を進めることはもちろんですが、退院時に必要な生活能力(日常生活動作能力)を身につけていただくために、各階フロアに生活リハビリテーション室を設け練習を行っています。

また、個別の入浴動作練習をおこなうため、練習用ユニットバスを3カ所に設けています。

退院後の屋外歩行を想定し、中庭の歩行練習や砂利道や芝生、坂道などの応用歩行練習も行います。

リハビリテーション室



生活リハビリテーション室



中庭 屋外歩行・散歩コース



○セラピストによる訓練のみならず、病棟看護師や介護福祉士が日常生活動作練習やレクリエーションを行い、安定した日常生活動作の早期定着や認知機能維持・向上に取り組んでいます。
また、余暇時間を利用してロボットを用いた腕の運動や歩行練習を行い、質・量ともに機能回復を促すことにも挑戦しています。

ロボット



Honda歩行アシスト
+ ゲイトイノベーション

上肢用ロボット型運動訓練装置
Reo Go®

○途切れのない医療－介護連携を実践するために、在宅復帰後に必要となる介護保険領域でのサービス充実と、継続的なリハビリテーションを住み慣れた地域で安心して受けられるようセラピストの地域派遣を推し進めています。
退院前に訪問リハビリスタッフがリハビリセンターに来院し、病院スタッフと一緒に患者さんの身体機能や生活能力を確認します。在宅復帰に向けて、病院スタッフや患者さん、ご家族にアドバイスを行います。

医療－介護連携



病院
スタッフ

訪問リハ
スタッフ

訪問リハ
スタッフ